

魔女のアイコと共に  
森を守護していた  
プロデューサーだったが  
アイコの危機にその身を魔獣と化し  
その後はアイコの召喚獣として  
生き続けていた

おはあ…  
出てきてくださる  
プロデューサーさん

おはあ…

その生命を維持するためには  
宿主の性的興奮と体液から  
得られる魔力が  
必要なのである



ああ…私の  
プロデュースさん…

今日は貴方の為に  
ずっと下着を履かならな  
い予定ですよ…？

三半

三半

今日も好きなのだ  
私を使って  
魔力を回復してくだら  
ね…？

あ  
る

ふふふ

ふふふ

ふふ

ハイハイ♡

ハイ♡

ハイ

……

……私に欲しんで  
……私に欲しんで



ああっ…  
気持ちいいわっ…  
フロアコーサーさん…

あっ♡

あっ♡

わん♡

まっ♡

まっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

乱暴にっ…  
かつ私の気持ちいい所を  
的確に責めてっ…♡

人だった頃と  
変わらないうっ…♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡





ああっ…  
プロデューサーさん…♡  
そんなに私をだきしめて…

全然…まだまだ  
足りないんですわ…♡

どうして…  
好きなのは私で  
気持ちよくなるのは…♡

ほー♡

ほー♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡





ぐわんぐわん♡

あゝ♡

あゝ♡

ぐわんぐわん♡

ぐわん♡

ぐわん♡

ぐわん♡

ぐわん♡

ほー♡

ぐわん♡

ぐわん♡

ぐわん♡

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん





イウのが  
どまらなるら...♡

身体全部  
気持ちいいで  
らっぽらぽら...♡

アハハハ♡

アハハハ♡

アハハハ♡

アハハハ♡

マロテローサーさんも  
満杯にぐわぐわしましたか...?

アハハハ♡

わたし...あなたの子供も  
沢山生みますから...  
そしたら親子で私を  
きもちよくしてくださいね...♡

数年後  
森の奥には触手の魔獣に  
満たされた場所があり...  
その中心では  
触手と交わう魔女がいると  
噂が立つのであった





















